

やまぐち型地域連携教育強化推進事業

1 趣旨

コミュニティ・スクール（CS）が核となり、「地域協育ネット」の仕組みを生かして、各中学校区で地域のネットワークを形成し、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを支援する「やまぐち型地域連携教育」の取組を充実させることにより、「地域教育力日本一」の推進を図る。

2 事業概要

(1) やまぐち型地域連携教育推進協議会の開催

各学校・地域において質の高い取組が行われるよう、県施策の充実や改善について協議

[委員構成] 各市町推進協議会代表、学識経験者、小中校長会代表、市町教育長代表、社会教育関係団体代表 等

[回数] 2回

《プロジェクト部会の設置》

下部組織として「推進体制・研修部会」「人材育成部会」「広報啓発部会」の3部会を設置し、課題に対する具体的な方策について重点的に協議（年3回開催）

(2) 山口CSコンダクターの配置

各学校運営協議会や小・中学校合同の学校運営協議会、管理職等への助言・支援

[配置] 13市、周防大島町及び熊毛郡3町（兼務）に各1名

（計15名、和木町及び阿武町は近隣市の山口CSコンダクターが兼務）

(3) 統括コンダクターの派遣

各山口CSコンダクターの活動を支援する統括コンダクターを派遣

[配置] 2名（1名は山口CSコンダクターが兼務、もう1名は山口大学教育学部教授）

(4) 山口県コミュニティ・スクール担当者、「地域協育ネット」担当者及び山口CSコンダクター合同会議の開催

やまぐち型地域連携教育の充実に向けた担当者の研修及び協議

[実施内容] 先進事例発表、講演、グループ別協議 等

[実施回数] 年3回

(5) やまぐち地域連携教育の集いの開催（県内7地域）

「やまぐち型地域連携教育」についての県民への周知及び推進気運の醸成

[参加者] 地域住民、保護者、教職員、コーディネーター、山口CSコンダクター 等

[実施内容] 実践発表、講演、所管説明 等

(6) 地域連携担当教職員研修会の開催（県内7地域）

学校が家庭・地域と連携・協働して効果的に教育活動を推進するための研修

[参加者] 各校の地域連携担当教職員（教頭、教諭、養護教諭、事務職員）

[実施内容] 実践発表、熟議、講義 等

(7) やまぐち型地域連携教育実践事例集の作成

「やまぐち型地域連携教育」の取組を事例集としてまとめ、県内外に配付

[配付先] 国、都道府県、市町、学校、各種団体 等

(8) 家庭教育支援員等合同研修会の開催

福祉部局と連携・協働した家庭教育支援チームの設置促進に向けた協議（年1回）

やまぐち型地域連携教育推進協議会

1 目的

県内のどの地域においても、社会総がかりで子どもの育ちや学びを支援する質の高い教育支援体制を整備するため、「やまぐち型地域連携教育」に関する県教育委員会の施策の充実や取組の改善に向けた協議を行うとともに、各市町での自立した取組を支援し、内容の充実を一層促進する。

2 内容

○ 委員構成

各市町CS推進協議会委員、学識経験者、学校関係者、市町教育長代表、山口CSコンダクター代表 等

○ 開催日 年2回開催（平成29年5月29日、平成30年1月25日）

○ 協議内容

【第1回】 「やまぐち型地域連携教育」に関する施策や重点取組等について説明し、推進に向けての共通理解を図るとともに、取組の充実に向けた課題等について改善方を協議

【第2回】 今年度の「やまぐち型地域連携教育」の取組、プロジェクト部会のまとめ、山口CSコンダクターの取組による成果と課題等を踏まえ、「やまぐち型地域連携教育」の取組の更なる充実について協議

3 プロジェクト部会

協議会の下部に、課題に対する具体的な方策について重点的に協議するプロジェクト部会を設置する。プロジェクト部会は、会長から委嘱を受けた委員によって構成され、必要に応じて会長が招集する（「やまぐち型地域連携教育推進協議会」設置要綱 第5条）。

《協議内容》

開催日	協議内容
7月21日	○ 「やまぐち型地域連携教育」の充実に向けて ・「全県的な推進体制の強化及び研修の充実」「人材育成」「広報啓発」の3部会による各課題の明確化
10月11日	○ 課題解決に向けての具体的な方策について ・部会別協議及び協議内容の共有 ○ コミュニティ・スクールについての研修：部会委員による山口市立湯田中学校の訪問 ・「湯田中学校ひろば」の取組について
12月19日	○ 「やまぐち型地域連携教育」の一層の充実に向けての具体的な方策について ・各部会の提言をもとにした県教委の取組のまとめ

山口^{コミスク}CSコンダクターの配置（兼務を含め全19市町に配置：15名）

1 山口CSコンダクターの役割

モデル中学校区を中心に、各学校のコミュニティ・スクール（CS）の取組の充実や水準の向上、合同の学校運営協議会の体制づくりによる小中連携の取組の充実などを推進するために、各学校を訪問し、助言・支援等を行う。

※ CSに関する理解と経験がある退職校長等を配置

2 山口CSコンダクターの取組

- 学校訪問による管理職への助言・支援及び教職員研修会等でのCSの重要性の説明
- 社会教育主事や指導主事、公民館等との連携及び学校と行政とのパイプ役
- 取組の充実を図るため、CSの協議会に積極的に参加し、助言・支援
- CS推進のための研修会を市町教委と連携して企画・運営
- CSだよりの作成による教職員・地域住民への啓発
- 小中合同の学校運営協議会や研修会で助言・支援し、小中連携を推進
- 学校・市町教委と家庭教育支援チームの連携を強化

3 山口CSコンダクター連絡会（年3回）

《協議内容》 山口CSコンダクターの取組の共通理解及び情報等の共有

開催日	連絡会	連絡会の主な内容
H29. 5. 17	連絡会 ①	所管説明（平成29年度の県教委の取組〔義務教育課、社会教育・文化財課〕） 協議（各市町の年度当初の状況報告、山口CSコンダクターの重点取組事項）
H29. 8. 29	連絡会 ②	学校訪問（和木町立和木小学校） 実践発表（町ぐるみ「和木学園」構想、和木小学校のCSの取組） 協議（これまでの取組状況の報告、今後の共通取組事項）
H30. 1. 16	連絡会 ③	行政説明（学校内における「子育てひろば」開設の推進〔県健康福祉部こども政策課〕） 協議（成果と課題及び今後の取組、「学校運営協議会を充実させるためのポイント」の検討）

4 成果及び今後の取組

■ 成果

- 学校運営協議会の充実
 - ・管理職や会長との事前打合せによる協議内容の焦点化
 - ・学校課題の解決をめざした熟議の実施回数の増加（委員からの提言の増加）
- 研修会の充実
 - ・「やまぐち型地域連携教育」に係る教職員研修会での助言・支援
 - ・やまぐち地域連携教育の集い及び地域連携担当教職員研修会における実践発表校への助言・支援
- 小中連携・一貫に向けた取組の推進
 - ・小中共同テーマやめざす子ども像の設定
 - ・「ふるさとを愛する心の育成」に向けた地域ぐるみの取組の検討・実施
- 家庭教育支援の充実
 - ・福祉部局との連携強化による体制の整備
 - ・家庭教育支援チームの取組の全市町的な周知

■ 今後の取組

- 行政間連携の促進（学校教育と社会教育及び首長部局との連携）による家庭教育支援や「地域協育ネット」の取組の充実
- 校長への助言・支援によるマネジメント力の向上
- 学校運営協議会の活性化、学校運営協議会と連動する組織づくり

山口県コミュニティ・スクール担当者、「地域協育ネット」担当者及び山口CSコンダクター合同会議

○ 目 的

「やまぐち型地域連携教育」を推進するため、コミュニティ・スクール及び「地域協育ネット」の一体的な推進及び充実を図るとともに、先進的な取組の成果等を共有し、学校・家庭・地域が連携・協働し、知・徳・体の調和のとれた子どもたちの「生きる力」を育む学校づくり、地域づくりの推進に資する。

第1回

1 日時・会場 平成29年6月9日（金）13:30～16:30 山口県庁職員ホール

2 内 容

- (1) 報告・所管説明
 - ・第1回山口CSコンダクター連絡会について
 - ・第1回やまぐち型地域連携教育推進協議会について
 - ・家庭教育支援の充実について
- (2) 指導講話
「学校・家庭・地域の関係性とやまぐち型地域連携教育の推進」
〔講師〕山口大学教育学部 教授 霜川 正幸 氏
- (3) グループ協議
「やまぐち型地域連携教育」の推進
 - ・ふるさとを愛する心の育成に向けて

第2回

1 日時・会場 平成29年11月9日（木）13:30～16:30 山口県社会福祉会館

2 内 容

- (1) 報告
 - ・第2回山口CSコンダクター連絡会について
 - ・第2回やまぐち型地域連携教育推進協議会プロジェクト部会について
 - ・第2回家庭教育支援員等合同研修会について
- (2) グループ協議
「やまぐち型地域連携教育」の一層の充実に向けて
 - ・各市町教委における重点的な取組事項について

第3回

1 日時・会場 平成30年2月16日（金）13:30～16:30 山口県教育会館

2 内 容

- (1) 報告・行政説明
 - ・第3回山口CSコンダクター連絡会について
 - ・第2回やまぐち型地域連携教育推進協議会について
 - ・第3回家庭教育支援員等合同研修会について
 - ・学校内における「子育てひろば」開設の推進について（健康福祉部こども政策課）
 - ・老人クラブとの連携による取組の推進について（健康福祉部長寿社会課）
- (2) 実践発表
「地域と学校の未来を“つなぐ”事務職員」
〔発表〕光市教育研究会事務部会
- (3) グループ協議
「やまぐち型地域連携教育」の一層の充実に向けて
 - ・次年度の各市町教委における重点的な取組事項について

やまぐち地域連携教育の集い

1 目的

学校・家庭・地域が連携・協働して子どもたちの学びや育ちを支援する「やまぐち型地域連携教育」の実践発表や有識者による講演等を通して、「やまぐち型地域連携教育」に対する理解を深め、取組の充実を図ることを目的とする。

2 研修会の概要

日程	地域	会場	参加者数	講師	事例発表
8月22日(火)	萩	阿武町町民センター	300名	土江 博昭 (株)キラキラ雲南 常任相談役 <CSマイスター>	萩市立木間小・中学校 阿武町立福賀小学校 山口県立萩高等学校
11月2日(木)	周南	ほしらんど くだまつ	209名	霜川 正幸 山口大学教育学部 教授	下松市立豊井小学校 下松市立久保小学校 下松市立末武中学校
11月26日(日)	下関	下関市教育 センター	194名	相田 康弘 文部科学省 初等中等教育局 参事官付 専門職	下関市立木屋川中学校 下関市立吉田小学校 下関市立王喜小学校
11月27日(月)	厚狭	美祢市民会館	223名	相田 康弘 文部科学省 初等中等教育局 参事官付 専門職	山陽小野田市教育委員会 山陽小野田市立高泊小学校 山陽小野田市立竜王中学校
11月28日(火)	柳井	上関町総合 文化センター	182名	畦地 和也 高知県黒潮町 教育委員会教育次長 <CSマイスター>	柳井市立柳井中学校 周防大島町立大島中学校
12月1日(金)	岩国	岩国市周東 文化会館	187名	生重 幸恵 NPO法人 スクール・アドバイザー ネットワーク理事長	岩国市教育委員会 岩国市立岩国中学校 山口県立岩国総合支援学校
12月16日(土)	防府	山口県総合 保健会館	342名	山崎 亮 株式会社 studio-L 代表取締役	山口市立大殿小学校 防府市佐波公民館 山口県立防府商工高等学校
計			1,637名		

3 参加者の意見や感想

- 教職員の意識改革が必要。負担と考えるのではなく、子どもたちのため、地域のためとポジティブにコミュニティ・スクールの取組を進めていきたい。(学校の教職員)
- コミュニティ・スクールに取り組む目的や目標を改めて共有することから始めたい。課題解決だけではなく、未来を語り未来を創るためのコミュニティ・スクールであるようマネジメントしていきたい。(学校の管理職)
- コミュニティ・スクールを通じて、未来の地域づくり、人づくりにつながるのだと活動の大切さがわかった。(保護者)
- 学校と地域が連携・協働する活動に全く参加していなかった私は、これだけ多くの大人が子どもたちの成長に関わっておられることを初めて知り、感動した。(地域住民)

地域連携担当教職員研修会

1 目的

地域連携担当教職員が、やまぐち型地域連携教育の取組に関する実践発表や講義、熟議等を通して、自らの役割を認識するとともに、学校が家庭・地域と連携・協働して効果的に教育活動を推進するためのマネジメント力を向上させることを目的とする。

2 研修会の概要

日程	地域	会場	参加者数	実践発表
8月22日(火)	萩	阿武町町民センター	49名	萩市立明倫小学校(教諭) 長門市立深川小学校(事務主任)
11月2日(木)	周南	ほしらんど くだまつ	57名	光市教育研究会事務部会(主査、事務主任、 主任主事、主事)
11月13日(月)	防府	山口県 セミナーパーク	54名	山口市立湯田中学校(主事) 防府市立国府中学校(教頭)
11月26日(日)	下関	下関市教育 センター	54名	下関市立夢が丘中学校(教諭) 下関市立安岡小学校(CSコーディネーター)
11月27日(月)	厚狭	美祢市民会館	59名	宇部市立上宇部小学校(教諭) 美祢市立厚保中学校(教頭)
11月28日(火)	柳井	上関町総合 文化センター	35名	平生町立平生小学校(教諭)
12月1日(金)	岩国	岩国市周東 文化会館	45名	岩国市立川下中学校(教諭)
計			353名	

3 参加者の意見や感想

- 地域連携担当教職員の校務分掌上の位置づけやCSの取組内容が、学校や地域によって違うことがよくわかった。置かれた状況の中で、よりよいCSの取組を着実に進めていく。
- 学校内外での役割、具体的な業務内容を改めて認識することができた。また、他校の実践や中学校区での熟議は、今後の担当として業務を進める上で大いに参考になった。
- 熟議の中で、地域コーディネーターとの連絡・調整の仕組みがきちんと確立されていて、地域との連携がスムーズにできる学校があった。本校でも校内体制を整備し、特色ある地域連携教育を推進する学校をめざしていきたい。
- 熟議のメンバーが、同じ思いで頑張っている熱い気持ちが伝わり、地域連携をしっかりと推進していこうという気持ちになれた。課題はあるが、学校全体が前向きに取り組んでいけるよう努めていきたい。

「地域協育ネット」による温かい^{きずな}絆づくり推進事業

1 趣旨

地域ぐるみで子どもの学びや育ちを支えるため、学校・家庭・地域の連携・協働による全中学校区での教育支援体制「地域協育ネット」を活用した教育支援活動等の一層の充実を図る。

2 事業概要

(1) 「学校・家庭・地域の温かい^{きずな}絆づくり」活動支援事業【事業主体：市町】

- ・地域協育ネット協議会の運営の充実
- ・統括コーディネーターの配置
- ・学校等を拠点とした教育支援活動の実施

(2) 「学校・家庭・地域の温かい^{きずな}絆づくり」家庭教育支援事業【事業主体：市町】

- ・学習機会の提供、親子参加型行事の実施、情報提供や相談対応等の実施

(3) 「学校・家庭・地域の温かい^{きずな}絆づくり」放課後子ども支援事業【事業主体：市町】

- ・余裕教室等を活用した放課後の子どもの学習、体験・交流プログラムの実施
- ・放課後児童クラブとの合同会議の運営と共通プログラムの実施

(4) 「学校・家庭・地域の温かい^{きずな}絆づくり」土曜日の教育活動支援事業【事業主体：市町】

- ・外部人材の参画による特色・魅力のある教育プログラムの実施

(5) 全県的な推進体制の強化等【事業主体：県】

- ・市町の取組支援（高校生の参画促進、市町訪問等による指導助言）
- ・研修会の開催
 - 「地域協育ネット」コーディネーター養成講座（年8回） ※詳細は、P131を参照
（年8回：5月、6月、8月、9月、11月、12月、1月）
 - 家庭教育アドバイザー養成講座（年8回） ※詳細は、P131を参照
（年8回：5月、6月、8月、9月、11月、12月、1月）
 - 教育支援員等研修会（年1回、県内3か所）
- ・地域社会と連携した高校生スキルアップ事業
（土曜日等に地域の専門指導者を招へいして実施するワークショップ・講話・技術指導 等）
- ・「地域協育ネット」の広報
（テレビ番組「はつらつ山口っ子」の制作・放映、啓発リーフレットの作成・配付）

3 県の取組

- 「地域協育ネット」コーディネーターステップアップ講座の開催 ※詳細は、P131を参照
（年4回：5月、8月、12月、1月）
- 家庭教育アドバイザーステップアップ講座の開催 ※詳細は、P131を参照
（年4回：5月、8月、12月、1月）
- “熟議”サポート事業の実施 ※詳細は、P132を参照
- 「家庭の元気応援」出前講座の開催 ※詳細は、P133を参照

平成 29 年度「『地域協育ネット』コーディネーター養成講座」「家庭教育アドバイザー養成講座」及び
「『地域協育ネット』コーディネーターステップアップ講座」「家庭教育アドバイザーステップアップ講座」

実施内容

月 日	養成講座	ステップアップ講座
	テーマ・内 容	テーマ・内 容
5 /27 (土)	生涯学習、社会教育の基礎	生涯学習、社会教育の現状と課題
	行政説明「県の社会教育施策について」	
	講義「人権教育の推進について」	
	講義「地域と連携した教育支援」	
	参加者交流	
6 /24 (土)	子どもの発達と理解	家庭教育支援のための教育相談
	講義「気になる子どもの理解と対応」(発達障害)	行政説明「家庭教育支援施策について」
	講義「子どもの発達と課題」(幼少期)	講義「家庭教育支援の現状と課題」
	講義「子どもの発達と課題」(児童期・青年期)	講義・演習「カウンセリングの実際」
	参加者交流	
8 /5 (土)	ネットワークづくりとコーディネーターの活動	地域の課題を解決するための活動の仕組み方
	講義・演習「地域情報の収集・活用方法とネットワーク」	講義・演習「地域・家庭・学校が連携してできるあんなこと・こんなこと」
	事例発表「『地域協育ネット』の取組について」	事例発表「地域の課題を解決するための活動」
	演習「地域とともにある学校づくり・学校を核とした地域づくり」	演習「地域課題を解決するためのプランづくり」
9 /9 (土)	コミュニケーションスキル	地域・家庭・学校をつなぐためのスキル
	講義・演習「コーディネーターとしての関わり方」	講義・演習「子どもと親のサポートセンターの機能と電話相談への対応」
	講義・演習「ワクワクドキドキのコミュニケーション論」	講義・演習「家庭内のひきこもりへの対応」
	演習「コミュニケーションスキルの生かし方(人間関係づくり)」	講義・演習「家庭教育における問題を想定したケース検討」
	参加者交流	
11 /18 (土)	家庭教育支援の実際	訪問型支援のあり方
	講義「子どもの病気とけが」	講義「訪問型家庭教育支援の現状と支援者の役割」
	演習「『家庭の元気応援出前講座』プログラム体験」	事例発表「訪問型家庭教育支援の実際」
	事例発表「家庭教育支援チームの活動」	講義「スクールソーシャルワーカーの活動と役割」
	参加者交流	
12 /9 (土)	コーディネーターの心得	コーディネーターとしての心構え
	講義・演習「カウンセリングスキル」	講義「コーディネーターの活動を、地域づくりの視点から考える」
	講義「危機管理について」	演習「『ボランティアの心得』づくり」
	演習・参加者交流「コーディネーターの心得」	参加者交流
8月 ～ 12月	学校・家庭・地域の連携による仕組みづくり	
	県内7地域で開催される「やまぐち地域連携教育の集い」への参加	
1 /27 (土)	これからの連携協働のあり方	連携協働体制づくりの推進
	講義「これからの家庭教育支援のあり方」	
	講義「コーディネーターに求められる役割」	
	1年間の振り返り	

“熟議” サポート事業

1 目的

地域協育ネット協議会や学校運営協議会の取組の充実に向けて、子どもたちをめぐる現状や課題、国及び県の動向や県内の好事例等に関する情報や「熟議」のノウハウ等を提供するとともに、各市町教委との協働を通して、各市町における「熟議」の推進を支援する。

2 主催

山口県教育委員会

3 対象

地域協育ネット協議会や学校運営協議会等を活用し、教職員及び保護者、地域関係者等、様々な立場の人で行う「熟議」

4 事業概要

(1) 「『熟議』パッケージ」の提供

- ・各市町教委にプログラム、進行係シナリオ等の「熟議パッケージ」を提供し、市町教委、学校等の主体的な「『熟議』の場づくり」を促進する。

(2) 「『熟議』開催支援プログラム」の実施

- ・各学校等からの支援要請があれば、各市町教委と協働して（県教委2名、市町教委1名でチームを編成）支援する。
- ・県内の好事例や現状認識に関わる情報提供

5 講座の流れ

① はつらつ山口っ子」視聴

- ・「はつらつ山口っ子（企画：山口県教育委員会 制作著作：山口放送）」

② 現状認識に関わる情報提供

- ・子どもを取り巻く環境
- ・「やまぐち型地域連携教育」の推進について
（コミュニティ・スクールとは。「地域協育ネット」とは。）

③ グループワーク

- ・テーマに関して、意見を出し合い、考えを深める。

④ シェアリング

- ・各グループの意見を全体場で共有する。
- ・「熟議」を今後の動きにつなげていくことを確認する。

6 講座の様子とその後の動き



「熟議」で提案された
プランの実践



「家庭の元気応援」出前講座

1 目的

家庭教育の充実に向け、幼稚園、小・中学校のPTA等や、企業等で働く、子育てに関わっている、あるいは関心のある社員に、子育てのあり方や親の役割等、家庭教育の重要性について学習する機会を提供する。

2 主催

山口県教育委員会

3 対象

幼児期から中学生までの子どもの保護者及び子育てに関心のある社員を雇用する県内の企業や団体

4 事業概要

(1) 事業の内容

- ・PTA、企業等が行う研修等に講師（山口県教育庁社会教育・文化財課社会教育主事等）を派遣し実施する。
- ・開催時間は60分～90分程度
- ・「家庭教育」をテーマにしたグループワーク、講義等
- ・県内の好事例や現状認識に関わる情報提供

(2) 実施回数

- ・年間13回程度

5 講座の流れ

- ① グループ分け（アイスブレイク）
 - ・ゲームを通して、グループ分けを行ったり参加者の緊張を柔らかくしたりする。
- ② 活動のねらいを知る
 - ・家庭教育の五つのポイントを提示し、講座テーマについてのイメージをふくらませる。
- ③ グループワーク
 - ・テーマに関して、意見を出し合い、考えを深める。
- ④ シェアリング
 - ・各グループの意見を全体場で共有する。
- ⑤ まとめ（ファシリテーターによる振り返り）
- ⑥ アンケート記入

6 講座の様子

